

マーケット・アイ (概観)

日銀金融経済月報 (2月15日公表)		日銀金融市場調節方針			日本の主要統計指標													
<p>2月：基調判断 (据え置き)</p> <p>わが国の景気は、住宅投資の落ち込みなどから減速しているとみられるが、基調としては緩やかに拡大している。()</p> <p>公共投資は、低調に推移している。() 企業収益は、総じて高水準で推移。() 生産は、増加を続けている。() 設備投資は、引き続き増加基調にある。() 雇用者所得は、緩やかな増加を続けている。() 輸出は、増加を続けている。() 個人消費は、底堅く推移している。() 住宅投資は、大幅に減少している。() 国内企業物価は、国際商品市況高などを背景に、3か月前比でみて上昇している。消費者物価(除く生鮮食品)の前年比は、石油製品や食料品の価格上昇などから、プラス幅が拡大している。景気の先行きについては、当面減速するものの、その後緩やかな拡大を続けるとみられる。(カッコ内は方向性を表示)</p>		決定日	金融市場調節方針	基準割引率および基準貸付利率	項目	実質GDP	名目GDP	GDPデフレーター	需給ギャップ	日銀短観業況判断DI	項目	全国消費者物価	国内企業物価	景気動向指数DI	鉱工業生産	機械受注	完全失業率	
		03.10.10	日本銀行当座預金残高が 27~32兆円 程度となるよう金融市場調節を行う。	0.10%	前期比年率	前期比年率	前年同期比	(%)	大企業製造業	(除く生鮮食品)前年同月比	(%)	前年同月比05年基準	先行	一致	(季節調整)前月比	(民間除く船舶・電力)前月比	(季節調整)全体	
		04.1.20	日本銀行当座預金残高が 30~35兆円 程度となるよう金融市場調節を行う。	0.10%	(%)	(%)	(%)	(%)	(ポイント)	年・月	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
		06.3.9	無担保コールレート(ON物)を、概ね ゼロ で推移するよう促す。	0.10%	06/1-3	2.0	1.3	1.3	0.3	20 (3月)	07/6	0.1	1.8	75.0	81.8	1.3	10.4	3.7
		06.7.14	無担保コールレート(ON物)を、 0.25% 前後で推移するよう促す。	0.40%	06/4-6	3.5	1.9	1.2	0.1	21 (6月)	07/7	0.1	1.9	66.7	63.6	0.4	17.0	3.6
		07.2.21	無担保コールレート(ON物)を、 0.5% 前後で推移するよう促す。	0.75%	06/7-9	0.2	0.0	0.8	0.4	24 (9月)	07/8	0.1	1.5	33.3	77.3	3.5	7.7	3.8
					06/10-12	4.2	4.3	0.6	0.5	25 (12月)	07/9	0.1	1.3	0.0	54.5	1.4	7.6	4.0
					07/1-3	3.9	2.8	0.5	0.9	23 (3月)	07/10	0.1	2.0	18.2	70.0	1.6	12.7	4.0
					07/4-6	1.4	2.0	0.5	0.2	23 (6月)	07/11	0.4	2.3	18.2	30.0	1.6	2.8	3.8
					07/7-9	1.3	0.3	0.6	0.2	23 (9月)	07/12	0.8	2.6	45.5	70.0	1.4	3.2	3.8
					07/10-12	3.7	1.2	1.3	0.7	19 (12月)	08/1		3.0					

政府月例経済報告 (2月22日公表)		経済カレンダー		OIS (Overnight Index Swap)			金利予想		
<p>2月：基調判断 (1年3か月ぶりに下方修正)</p> <p>景気は、このところ回復が緩やかになっている。()</p> <p>企業収益は、改善に足踏みがみられる。() 設備投資は、緩やかに増加している。() 雇用情勢は、厳しさが残るなかで、改善に足踏みがみられる。() 個人消費は、おおむね横ばいとなっている。() 住宅建設は、持ち直しの動きがみられるものの、依然として低い水準にある。() 輸出は、緩やかに増加している。() 生産は、増勢が鈍化している。()</p> <p>先行きについては、設備投資や輸出が増加基調で推移し、緩やかな景気回復が続くと期待される。ただし、サブプライム住宅ローン問題を背景とするアメリカ経済の減速や金融資本市場の変動、原油価格の動向等から、景気の下振れリスクが高まっていることに留意する必要がある。(カッコ内は方向性を表示)</p>		日付	内容	期間 (07~08年)	固定金利	織り込み率(*)	種類	今後1か月程度を展望	備考
		2/28	1月の鉱工業生産、1月の労働力調査10-12月期米GDP改定値	08/3/10-4/9	0.50500%	2%	無担保コール (加重平均)	(O/N) 期間中の平均 0.49~0.51%	ONは0.50%を中心に安定した取引。期越えオへの最低落札金利は0.55%と落ち着いている。無担保コールの期越え物は0.7%台の取引ながら依然閑散。
		2/29	2月都区部・1月全国コアCPI	4/10-5/20	0.49250%	3%	短期国債 (FB/TB)	(3M) 0.54~0.57% (6M) 0.53~0.56% (1Y) 0.52~0.56%	政策金利の長期据え置き観測を背景に、1Y物までほぼフラット化している。3Mは需給要因からややレートが上昇気味。
		3/6	日銀金融政策決定会合1日目 ECB定例理事会	5/21-6/13	0.48750%	5%	C P (3か月物)	a-1+ 0.60~0.65% a-1 0.63~0.83% a-2 0.80~0.90%	高格付け銘柄を中心に、期越えの発行レートは低下している。
		3/7	日銀金融政策決定会合2日目、総裁会見、金融経済月報、2月米雇用統計	6/16-7/15	0.48000%	8%			
		3/10	1月の機械受注統計	7/16-8/19	0.46750%	13%			
		3/12(予)	10-12月期のGDP2次速報	8/20-9/17	0.45750%	17%			
		3/18	米FOMC	9/18-10/7	0.45250%	19%			
		3/19	福井日銀総裁任期満了	10/8-11/21	0.44750%	21%			
		3/28	3月都区部・2月全国コアCPI 2月の労働力調査	11/25-12/19	0.44750%	21%			
		3/31	2月の鉱工業生産	12/22-09/1/20	0.47000%	12%			
				(出所 山根タレットプレボン)					
				*3月は0.25%の 利上げの織り込み率 。 4月以降は0.25%の 利下げの織り込み率を試算 。					

2007年10月の展望レポート (中間評価 2008年1月)

2007年10月「経済・物価情勢の展望」(展望レポート)

指標	2006年度実績	2007年度実績 (確定分までの平均)	政策委員の大勢見通し (太字は中央値)			
			2007年度	07年4月時点の見通し	2008年度	07年4月時点の見通し
実質GDP	+2.1%	+1.2%	+1.7~+1.8% +1.8%	+2.0~+2.1% +2.1%	+1.9~+2.3% +2.1%	+2.0~+2.3% +2.1%
国内企業物価	+2.8%	+2.0%	+1.9~+2.1% +2.0%	+0.7~+0.8% +0.7%	+0.9~+1.2% +1.0%	+0.8~+1.0% +1.0%
消費者物価 (除く生鮮食品)	+0.1%	+0.1%	0.0~+0.1% 0.0%	0.0~+0.2% +0.1%	+0.2~+0.4% +0.4%	+0.4~+0.6% +0.5%

経済・物価情勢の見通し
わが国経済は、緩やかに拡大している。先行き2007年度後半から2008年度を展望すると、海外経済や国際金融資本市場の動向など不確実な要因はあるものの、生産・所得・支出の好循環メカニズムが維持されるもとの、息の長い拡大を続けると予想される。**成長率の水準は、ならしてみると、潜在成長率を幾分上回る2%程度で推移する可能性が高い**。国内企業物価指数の先行きは、原油などの商品市況や為替相場にも左右されるが、上昇基調を続けるとみられる。**消費者物価指数(除く生鮮食品)の先行きは、前年比でみて目先はゼロ近傍で推移する可能性が高いものの、より長い目でみると、プラス幅が次第に拡大するとみられる**。

先行きの上振れ・下振れ要因
経済情勢 **米欧経済を中心とする海外経済の動向、緩和的な金融環境が続くもとの、金融・経済活動の振幅が拡大する可能性**
物価上昇率 **需給ギャップに対する物価の感応度の低下、原油をはじめとする商品市況の動向**

中間評価 (08年1月)
景気は昨年10月の見通しに比べ、住宅投資の減少長期化などから**幾分下振れて推移**。このため、**07年度の成長率は潜在成長率をやや下回るとみられる**が、住宅投資が回復に向かうことから、**08年度は、見通しに概ね沿って、潜在成長率をやや上回ると予想**。**07年度の消費者物価は**石油製品や食料品価格の上昇で見通しに比べ**幾分上振れる**。**08年度は**価格上昇の影響が残る一方、景気の一時的減速の影響が現れ、**見通しに概ね沿って推移するとみられる**。**国内企業物価は**07、08年度ともに見通しに比べ、**上振れるとみられる**。

